

第9期決算公告

令和3年12月17日

熊本県菊池市七城町
蘇崎字十三部1365番地8
株式会社アビストH&F
代表取締役社長 石井 祐吾

貸借対照表

(令和3年9月30日現在)

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	191,556	流動負債	77,612
現金及び預金	83,692	未払金	72,172
売掛金	51,417	未払法人税等	388
商品及び製品	1,176	預り金	197
原材料及び貯蔵品	24,600	その他の流動負債	4,854
その他の流動資産	30,669		
固定資産	296,680	固定負債	210,754
有形固定資産	294,857	長期借入金	194,595
建物	127,909	長期未払金	15,516
構築物	9,598	繰延税金資産	641
機械及び装置	66,656		
工具、器具及び備品	1,535	負債合計	288,367
土地	89,157		
無形固定資産	1,722	(純資産の部)	
ソフトウェア	1,722	株主資本	199,869
	1,722	資本金	80,000
投資その他の資産	100	資本剰余金	128,243
敷金及び保証金	100	資本準備金	20,000
		その他資本剰余金	108,243
		利益剰余金	△8,373
		その他利益剰余金	△8,373
		繰越利益剰余金	△8,373
		(うち当期純損失)	(8,373)
		純資産合計	199,869
資産合計	488,237	負債・純資産合計	488,237

(記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。)

個別注記表

I 重要な会計方針に係る事項に関する注記

1. 資産の評価基準及び評価方法

たな卸資産

製品、原材料及び貯蔵品

総平均法による原価法（貸借対照表価額については、収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）によっております。

2. 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産

定率法を採用しております。ただし、建物（建物附属設備は除く）並びに平成28年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物については、定額法を採用しております。

なお、主な耐用年数は次のとおりであります。

建物及び構築物 3～50年

機械装置及び運搬具 2～15年

工具、器具及び備品 3～15年

(2) 無形固定資産

定額法によっております。

なお、ソフトウェア（自社利用目的分）については、社内における利用可能期間（5年）に基づく定額法によっております。

3. 消費税等の会計処理

税抜方式によっております。

II 貸借対照表に関する注記

1. 有形固定資産から直接控除した減価償却累計額（減損損失累計額含む）	403,118千円
2. 関係会社に金銭債権及び金銭債務	
(1) 関係会社に対する短期金銭債権	1,770千円
(2) 関係会社に対する短期金銭債務	85千円
(3) 関係会社に対する長期金銭債務	194,595千円